ひずみゲージ試験Ⅲ 2017 正誤表

ページ	誤	正
P24 2.9.3	Brger 法	Berger 法
下から6行目		
P28 3.2.4	図中の Δε は弾性ひずみ範囲(弾性ひずみ幅)といい、・・・・	図中の $\Delta \varepsilon_e$ は弾性ひずみ範囲(弾性ひずみ <u>全振</u> 幅)とい
右段3行目	$\Delta \epsilon_l$ は全ひずみ範囲(ひずみ全振幅)と呼ぶ。	<i>v</i> , · · · ·
		$\Delta \epsilon_t$ は全ひずみ範囲( $\underline{2}$ ひずみ全振幅)と呼ぶ。
P30 図 3.7	図中の σ	図中の $\sigma$ を $\sigma$ に変更し、上側にも $\sigma$ を追加する。
P48	リード線抵抗にr記号なし	リード線抵抗にr記号を追記
☑ 4.15	$R_1$ $R_2$ $R_3$ $R_4$ $R_5$ $R_5$	$R_1$ $R_2$ $R_3$ $R_3$ $R_3$
P48	リード線の・・・・・2 アクティブ3線法にすれば可能となる。	リード線の・・・・・2 アクティブ3線式にすれば可能となる。
(2) 2 ゲージ法の最後の文章		
P117	1/4 波長板 1/4 波長板 135° 45°	1/4 波長板 1/4 波長板 135° 45°
図 7.1	光源 個光子 90° 0° 90° 0° 0° 0°	光源 偏光子 90° 0° 0° 0° 0° 0° 0° 0° 0° 0° 0° 0° 0° 0
	(a) 円偏光器 (b) 直線偏光器	(a) 円偏光器 (b) 直線偏光器